

除 草 剤



理研

ソリスト[®] 顆粒水和剤

製品規格
400g×4袋

®：クミアイ化学工業㈱の登録商標



適用雑草と使用方法

(平成27年7月22日現在)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使 用 量		使用方法	総使用回数 [※]
				薬 量	希釈水量		
日本芝	—	一年生雑草	秋期芝生育期 (雑草発生前～ 発生初期) (スズメノカタビラ) 3葉期まで	0.05～0.1 g/m ²	200～250 mℓ/m ²	全面土壌散布	1回
樹木等	公園、庭園、 堤とう、駐車場、 道路、宅地、 運動場、 のり面、鉄道等		雑草発生前～ 発生始期	0.075～0.2 g/m ²	100～200 mℓ/m ²	植栽地を除く 樹木等の周辺地 に全面土壌散布	

※本剤およびピロキサスルホンを含む農薬の総使用回数



成分及び性状

ピロキサスルホン水和剤

成 分

ピロキサスルホン……………85.0%
【3-[5-(ジフルオロメトキシ)-1-メチル-3-(トリフルオロメチル)ピラゾール-4-イルメチルスルホニル]-4,5-ジヒドロ-5,5-ジメチル-1,2-オキサゾール】
鉱物質微粉等……………15.0%

性 状

淡褐色水和性細粒



人畜・水産動植物に対する安全性

●人畜毒性

普通物（毒物・劇物に該当しないものを指している通称）		
急性経口毒性試験	ラット	LD ₅₀ ：>2000mg/kg
急性経皮毒性試験	ラット	LD ₅₀ ：>2000mg/kg

●水産動植物に対する影響

コイ	LD ₅₀ ：>1000mg/ℓ (96h)
オオミジンコ	EC ₅₀ ：>1000mg/ℓ (48h)
藻類	ErC ₅₀ ：0.00263mg/ℓ (0-72h)



効果・薬害等の注意

- 雑草の発生前～発生初期に有効なので、時期を失しないように散布してください。また、日本芝内のスズメノカタビラには3葉期までに散布してください。(効果)
- 日本芝に使用する際は、以下の点に注意してください。
 - ・砂土、水はけの良い土壌では使用を避けてください。(薬害)
 - ・十分に活着した日本芝に使用してください。(薬害)
- ベントグラスなど寒地型芝草に対し影響を与えるため、周辺の散布では薬液の飛散や流れ込みのないよう十分に注意して散布してください。(薬害)
- 水田や水田への利用が考えられる水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物の付近では使用しないでください。(薬害)
- 野菜等の有用作物に飛散しないよう十分に注意して散布してください。(薬害)
- 激しい降雨が予想されるときは使用を避けてください。
- 適用作物、使用量、使用時期、使用方法を守ってください。特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。



安全使用上の注意

- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。(刺激性)
- 皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落してください。(弱い刺激性)
-  散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中及び散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

★ラベルをよく読む。

★記載以外には使用しない。

★小児の手の届く所には置かない。

★空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。

★保管時は密封し、直射日光をさける。食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管する。

製造
販売



緑をつくり、育て、守る。

株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 <http://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在 TEL.011(595)7401 FAX.011(595)7402
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953
静岡支店 TEL.054(283)5555 FAX.054(284)1769
名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061

大阪支店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811
福岡営業所 TEL・FAX：大阪支店にて受付
グリーン研究所 TEL.0538(58)1282 FAX.0538(58)1714
福田工場 TEL.0538(55)5108 FAX.0538(55)5104

(株)理研グリーン・パートナーシップ

除 草 剤

農林水産省登録
第23496号



理研

ソリスト[®]
顆粒水和剤

スズメノカタビラ支配から
解き放つ。

ワイドに羽ばたく防除力。



製造
販売



緑をつくり、育て、守る。

株式会社 理研グリーン

(製品規格：400g×4袋)

®およびTM：クミアイ化学工業㈱の登録商標



理研 ソリスト[®] 顆粒水和剤

鋭い切れ味、^{ソリスト}孤高の除草力 **3大特長**

スズメノカタビラに対して安定した効果を発揮する理由



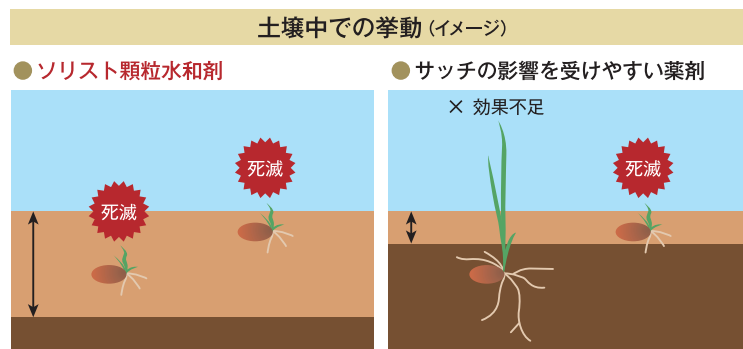
1 スズメノカタビラに対する処理適期幅 (発生前～発生初期) が広い

夏期から翌年の早春期にかけてダラダラと発生するスズメノカタビラにも有効。



2 薬剤の処理層が厚い

サッチ層の奥から発生するスズメノカタビラも防除。

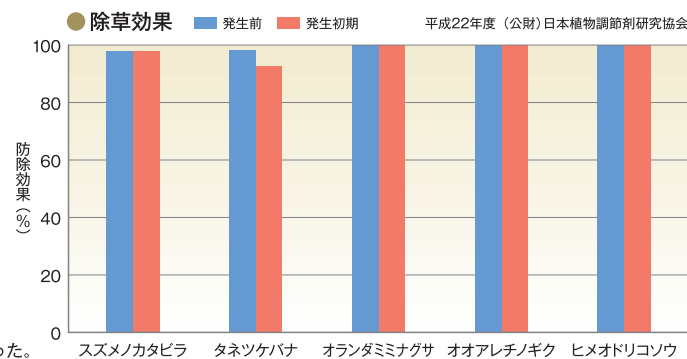


3 殺草スペクトラムが広い

イネ科だけでなく広葉雑草も同時に防除が可能。

圃場試験

試験場所：神奈川県Aゴルフ場
実施機関：東日本グリーン研究所
対象作物：コウライシバ
処 理 日：平成22年10月11日(発生前)、
10月24日(発生初期)
調 査 日：平成23年2月25日(処理137日後)
供試薬剤：ソリスト顆粒水和剤
0.075g/㎡ (水量：200mℓ/㎡)
試験結果：一年生雑草に対して極大の効果を示し、
コウライシバに対する薬害は認められなかった。



スズメノカタビラの姿、春に無し！ 秋冬期の防除効果が一目瞭然。



現地試験

試験場所：宮城県Bゴルフ場
試験規模：5,000㎡
実施機関：宇都宮大学
処 理 日：平成24年10月19日(雑草発生前)
調 査 日：平成25年3月27日(処理160日後)
供試薬剤：ソリスト顆粒水和剤 0.1g/㎡
+ 茎葉処理剤 0.5mℓ/㎡
(水量：200mℓ/㎡)

試験結果：

効果の高かった草種

- イネ科雑草：スズメノカタビラ
- 広 葉 雑 草：オランダミナグサ
コメツブツメクサ
タネツケバナ

効果の低かった草種

なし

平成24年度 (公財) 日本植物調節剤研究協会 実証試験
(非公開試験)

新規系統
イソキサゾリン系

吸収部位は植物の基部および根部で、クチクラ等の構成成分である超長鎖脂肪酸を合成する酵素(VLCFAE)を阻害し、植物を枯死に至らしめます。本剤は従来のVLCFAE阻害剤よりも低濃度で雑草に対して高活性を示し、また残効期間が長い特長があります。

殺草スペクトラム (社内試験結果より)

科 名	種 名	発 生 前			発生初期		
		0.05g/㎡	0.08g/㎡	0.1g/㎡	0.05g/㎡	0.08g/㎡	0.1g/㎡
イネ科	スズメノカタビラ	●	●	●	●	●	●
	ハルガヤ *	●	●	●	●	●	●
キク科	オオアレチノギク	●	●	●	◎	●	●
	ヒメムカシヨモギ	●	●	●	◎	●	●
	ノボロギク	◎	◎	◎	○	◎	●
マメ科	カラスノエンドウ	●	●	●	●	●	●
	スズメノエンドウ	●	●	●	●	●	●
シソ科	コメツブツメクサ	●	●	●	◎	◎	●
	ホトケノザ	●	●	●	◎	●	●
アブラナ科	ヒメオドリコソウ	◎	●	●	◎	●	●
	タネツケバナ	◎	●	●	◎	◎	●
ナデシコ科	ナズナ	●	●	●	◎	●	●
	ツメクサ	●	●	●	◎	●	●
ゴマノハグサ科	ハコベ	●	●	●	◎	●	●
	オランダミナグサ	●	●	●	●	●	●
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	タチイヌノフグリ	○	◎	●	◎	◎	●



除草効果：
● 極大 (100%) ◎ 極大 (99～90%)
○ 大 (89～80%) □ 中 (79～60%)
△ 小 (59～40%) × 無 (39%以下)

㈱理研グリーン グリーン研究所

* 多年生雑草 (適用外草種) 種子発生雑草に対する参考データ)

※ 雑草生育ステージが発生初期以降の場合は、茎葉処理剤を組み合わせてください。

暖地型芝草に対する影響

対象草種	使用時期			
	8月	9月	10月	11月以降
日 本 芝	+	—	—	—
	(淡緑化)	(影響なし)	(影響なし)	(影響なし)
バミューダグラス *	++	±～+	—	萌芽遅延が
	(赤褐色化)	(赤褐色化)	(影響なし)	発生する場合有り

* バミューダグラスが混在している場合は使用時期と薬量の調整を行って下さい。

※ 散布時期は地域や気象条件によって異なります。

注意

寒地型芝草に対して強い影響を与え
るので、散布の際は周辺の寒地型芝草に
十分配慮してください。特にグリーンやティ
グラウンド周辺では、ドリフトや流れ込み
による薬害が発生する可能性があります。

ベントグリーンから
30～50m 程度離してください。

表示方法：— (影響なし)
± (軽微) ～ +++ (強) × (枯死)

㈱理研グリーン グリーン研究所

緑地管理場面での使用方法

■ 樹木に対する影響

右記の樹木に対して安全
性が高いことが確認
されています。

ベニカナメモチ(レッドロビン)	ハナミズキ
レンギョウ	アオキ
オオムラサキツツジ	ス ギ
サザンカ	ヒサカキ

※ 水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物の
付近では使用しないでください。

※ 野菜等の有用作物に飛散しないよう十分に注意して散布してください。



試験場所：新潟県内緑地
処 理 日：平成25年10月11日
(雑草生育期)
調 査 日：平成26年5月8日
(処理211日目)
供試薬剤：ソリスト顆粒水和剤 0.1g/㎡
+ 茎葉処理剤 0.5mℓ/㎡
(水量：200mℓ/㎡)